



2026年12月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2026年5月12日

上場会社名 新日本電工株式会社 上場取引所 東
コード番号 5563 URL <https://www.nippondenko.co.jp>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 青木 泰
問合せ先責任者 (役職名) 執行役員総務部長 (氏名) 田中 徹 TEL 03-6860-6800
配当支払開始予定日 —
決算補足説明資料作成の有無 : 有
決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2026年12月期第1四半期の連結業績（2026年1月1日～2026年3月31日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年12月期第1四半期	19,422	0.2	1,998	97.0	1,126	194.2	561	—
2025年12月期第1四半期	19,379	9.4	1,014	22.6	382	—	25	—

(注) 包括利益 2026年12月期第1四半期 1,529百万円 (60.8%) 2025年12月期第1四半期 951百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2026年12月期第1四半期	4.50	—
2025年12月期第1四半期	0.18	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2026年12月期第1四半期	98,480	71,681	72.8
2025年12月期	93,414	71,025	76.0

(参考) 自己資本 2026年12月期第1四半期 71,681百万円 2025年12月期 71,025百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年12月期	—	5.00	—	7.00	12.00
2026年12月期	—	—	—	—	—
2026年12月期（予想）	—	5.50	—	7.50	13.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無
2025年12月期期末配当金の内訳 普通配当 6円00銭 記念配当 1円00銭 (創業100周年記念配当)

3. 2026年12月期の連結業績予想（2026年1月1日～2026年12月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		経常利益	
	百万円	%	百万円	%
通期	80,000	3.5	7,000	158.9

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有
詳細につきましては、添付資料の10ページ「3. 補足説明資料（1）連結業績」をご覧ください。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2026年12月期1Q	137,386,472株	2025年12月期	137,386,472株
② 期末自己株式数	2026年12月期1Q	12,599,308株	2025年12月期	12,597,919株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2026年12月期1Q	124,787,503株	2025年12月期1Q	137,290,589株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー：無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

2026年12月期の連結業績予想につきましては、現時点で得られた情報に基づき算定しており、多分に不確定要素を含んでおりますので、実際の業績は予想数値と大きく異なる場合があります。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	5
四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(セグメント情報等の注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	9
3. 補足説明資料	10
(1) 連結業績	10
(2) 事業別業績	10

1. 経営成績等の概況

（1）当期の経営成績の概況

当社グループの経営成績等の概況については、本日TDnet及び当社ウェブサイト（<https://www.nippondenko.co.jp/ir/library/>）に掲載しました第1四半期決算説明資料、及び添付資料10ページ「3. 補足説明資料」に記載しておりますのでご覧ください。

（2）当期の財務状態の概況

（資産）

当第1四半期連結会計期間末の資産合計は、前連結会計年度末と比べ5,066百万円増加し98,480百万円となりました。流動資産は、棚卸資産などの増加により、前連結会計年度末と比べ1,356百万円増加し45,775百万円となりました。固定資産は有形固定資産などの増加により、前連結会計年度末と比べ3,710百万円増加し52,705百万円となりました。

（負債）

当第1四半期連結会計期間末の負債合計は、短期借入金などの増加により、前連結会計年度末と比べ4,410百万円増加し26,799百万円となりました。なお、有利子負債（短期借入金、1年内返済予定の長期借入金、リース債務（流動負債）、長期借入金、リース債務（固定負債））は2,563百万円増加し16,389百万円となりました。

（純資産）

当第1四半期連結会計期間末の純資産合計は、前連結会計年度末に比べ656百万円増加し71,681百万円となりました。

（3）今後の見通し

売上高は、合金鉄製品市況及び為替の変動等の影響により期初想定を上回る見通しです。

経常利益は、電池材料需要低迷により機能材料事業の減益が見込まれる一方で、焼却灰の処理量増加や溶融メタル市況の高位安定に加え、足元でのマンガン鉱石市況上昇に伴い在庫影響がプラスに反転することが見込まれるため、期初想定を上回る見通しです。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2026年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	6,024	6,557
受取手形及び売掛金	10,864	10,250
商品及び製品	15,351	15,665
仕掛品	231	222
原材料及び貯蔵品	10,558	11,608
その他	1,389	1,470
流動資産合計	44,419	45,775
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	7,393	7,596
機械装置及び運搬具(純額)	10,474	10,492
土地	5,329	5,329
リース資産(純額)	2,808	2,790
建設仮勘定	691	3,618
その他(純額)	560	579
有形固定資産合計	27,257	30,406
無形固定資産	812	804
投資その他の資産		
投資有価証券	19,154	19,807
退職給付に係る資産	1,147	1,088
繰延税金資産	339	313
その他	282	284
投資その他の資産合計	20,924	21,493
固定資産合計	48,994	52,705
資産合計	93,414	98,480

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2026年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,436	3,224
短期借入金	3,500	6,000
1年内返済予定の長期借入金	2,100	2,100
リース債務	183	188
未払法人税等	394	723
賞与引当金	269	730
役員賞与引当金	39	—
設備関係支払手形	1	0
その他	4,055	5,365
流動負債合計	13,981	18,333
固定負債		
長期借入金	4,378	4,419
リース債務	3,663	3,682
その他	364	364
固定負債合計	8,407	8,466
負債合計	22,388	26,799
純資産の部		
株主資本		
資本金	11,120	11,120
資本剰余金	17,484	17,484
利益剰余金	40,228	39,916
自己株式	△3,865	△3,865
株主資本合計	64,967	64,655
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,909	3,153
為替換算調整勘定	1,839	2,594
退職給付に係る調整累計額	1,308	1,277
その他の包括利益累計額合計	6,057	7,026
純資産合計	71,025	71,681
負債純資産合計	93,414	98,480

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2025年1月1日 至 2025年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2026年1月1日 至 2026年3月31日)
売上高	19,379	19,422
売上原価	16,589	15,569
売上総利益	2,789	3,852
販売費及び一般管理費	1,775	1,853
営業利益	1,014	1,998
営業外収益		
受取利息	52	0
保険配当金	57	63
その他	40	14
営業外収益合計	150	79
営業外費用		
支払利息	147	141
持分法による投資損失	377	525
固定資産除却損	131	162
その他	125	121
営業外費用合計	781	951
経常利益	382	1,126
特別損失		
環境対策費	180	—
その他	6	—
特別損失合計	186	—
税金等調整前四半期純利益	196	1,126
法人税、住民税及び事業税	153	637
法人税等調整額	18	△71
法人税等合計	171	565
四半期純利益	25	561
親会社株主に帰属する四半期純利益	25	561

(四半期連結包括利益計算書)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2025年1月1日 至 2025年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2026年1月1日 至 2026年3月31日)
四半期純利益	25	561
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	270	244
繰延ヘッジ損益	△0	—
退職給付に係る調整額	△44	△31
持分法適用会社に対する持分相当額	700	755
その他の包括利益合計	926	968
四半期包括利益	951	1,529
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	951	1,529

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項
(セグメント情報等の注記)

I 前第1四半期連結累計期間(自 2025年1月1日 至 2025年3月31日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：百万円)

	報告セグメント						その他 (注) 1	合計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	合金鉄 事業	機能材 料事業	焼却灰 資源化 事業	アクアソ リユース 事業	電力 事業	計				
売上高										
顧客との契約 から生じる収 益	13,308	3,386	1,847	387	166	19,095	283	19,379	—	19,379
外部顧客への 売上高	13,308	3,386	1,847	387	166	19,095	283	19,379	—	19,379
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	22	—	—	—	—	22	7	29	△29	—
計	13,330	3,386	1,847	387	166	19,118	290	19,408	△29	19,379
セグメント利益又 は損失 (△)	△315	485	304	3	△76	401	△18	382	—	382

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、主にその他子会社事業となります。

2. セグメント利益又は損失 (△) の合計は、四半期連結損益計算書の経常利益と一致しております。

2 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間(自 2026年1月1日 至 2026年3月31日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:百万円)

	報告セグメント						その他 (注) 1	合計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	合金鉄 事業	機能材 料事業	焼却灰 資源化 事業	アクアソ リユース ン事業	電力 事業	計				
売上高										
顧客との契約 から生じる収 益	12,345	3,517	2,718	402	142	19,126	295	19,422	—	19,422
外部顧客への 売上高	12,345	3,517	2,718	402	142	19,126	295	19,422	—	19,422
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	20	—	—	—	—	20	7	28	△28	—
計	12,365	3,517	2,718	402	142	19,147	303	19,450	△28	19,422
セグメント利益又 は損失(△)	△232	554	889	33	△99	1,145	△18	1,126	—	1,126

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、主にその他子会社事業となります。

2. セグメント利益又は損失(△)の合計は、四半期連結損益計算書の経常利益と一致しております。

2 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)
該当事項はありません。

(継続企業の前提に関する注記)
該当事項はありません。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費(のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。)は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 2025年1月1日 至 2025年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2026年1月1日 至 2026年3月31日)
減価償却費	830百万円	1,002百万円

3. 補足説明資料

(1) 連結業績

(単位：億円 億円未満四捨五入)

	2025年		2026年		差異	
	1Q	通期	1Q	通期見込	1Q	通期
売上高	194	773	194	800	0	27
経常利益	4	27	11	70	7	43
実力ベース経常利益※	5	53	16	60	11	7
親会社株主に帰属する 四半期純利益	0	14	6	—	5	—
1株当たり当期純利益(円)	0.2	10.7	4.5	—	4.3	—

※実力ベース経常利益：在庫影響や一過性要因を除いた経常利益

当第1四半期連結累計期間は、焼却灰資源化事業での灰処理量増加や溶融メタル市況の高位安定により、経常利益は7億円増益の11億円、電池材料需要の低迷による一部品種の製品受託製造終了等により発生した一過性費用や在庫影響を除いた実力ベース経常利益は11億円増益の16億円となった。

通期においては、電池材料需要低迷により機能材料事業の減益が見込まれる一方で、合金鉄事業や焼却灰資源化事業は前期比増益が見込まれる。以上に加え、足元でのマンガン鉱石市況上昇に伴い在庫影響がプラスに反転することから、経常利益は前期比43億円増益の70億円、実力ベース経常利益は前期比増益の60億円を見込む。

(2) 事業別業績

(単位：億円 億円未満四捨五入)

	2025年		2026年		差異	
	1Q	通期	1Q	通期見込	1Q	通期
売上高						
合金鉄事業	133	484	123	496	△10	12
機能材料事業	34	148	35	133	1	△15
焼却灰資源化事業	18	89	27	118	9	29
アクアソリューション事業	4	17	4	18	0	1
電力事業	2	14	1	13	△0	△1
その他	3	21	3	22	0	1
合計	194	773	194	800	0	27

	2025年		2026年		差異	
	1Q	通期	1Q	通期見込	1Q	通期
経常利益						
合金鉄事業	△3	△21	△2	15	1	36
うち国内	1	△7	3	21	2	28
うち海外	△4	△14	△5	△6	△1	8
機能材料事業	5	19	6	13	1	△6
焼却灰資源化事業	3	21	9	35	6	14
アクアソリューション事業	0	1	0	1	0	0
電力事業	△1	4	△1	3	△0	△1
その他	△0	3	△0	3	△0	0
合計	4	27	11	70	7	43

	2025年		2026年		差異	
	1Q	通期	1Q	通期見込	1Q	通期
実力ベース経常利益						
合金鉄事業	△2	2	1	5	3	3
うち国内	1	12	5	12	4	0
うち海外	△3	△10	△4	△7	△1	3
機能材料事業	5	22	7	13	2	△9
焼却灰資源化事業	3	21	9	35	6	14
アクアソリューション事業	0	1	0	1	0	0
電力事業	△1	4	△1	3	0	△1
その他	0	3	0	3	0	0
合計	5	53	16	60	11	7

(合金鉄事業)

第1四半期は、国内合金鉄事業については、操業が好調に推移したことにより、実力ベース経常利益は前年同期比4億円増益の5億円となった。通期の実力ベース経常利益は、足元で上昇しているマンガ
ン鉱石市況が継続すると想定し前期並みの12億円を見込む。

海外合金鉄事業は、第1四半期は前年同期並みの4億円の経常損失となった。通期の実力ベース経常
損益は、マンガ
ン鉱石市況上昇や収益改善策の実施等により、前期と比べマイナス幅が縮小し7億円の
経常損失を見込む。

(機能材料事業)

第1四半期は、電子部品関連はAIデータセンター市場の成長を背景として販売数量が増加、フェロボ
ロンも堅調な販売を維持した。以上の結果、実力ベース経常利益は前年同期比2億円増益の7億円とな
った。

通期の実力ベース経常利益は、OEM(一部の受託製造販売が本年3月で終了)を含む電池材料需要低迷
により前期比9億円減益の13億円を見込む。

(焼却灰資源化事業)

第1四半期は、焼却灰収集量及び処理量の増加、並びに溶融メタルに関連する貴金属市況の高位安定
が継続したことから、実力ベース経常利益は前年同期比6億円増益の9億円となった。

通期の実力ベース経常利益は、前期比14億円増益の35億円を見込む。

(アクアソリューション事業)

第1四半期は、純水製造装置および排水処理装置の販売が堅調に推移した結果、実力ベース経常利益
は前年同期から横ばいとなった。通期の実力ベース経常利益は、前期比横ばいを見込む。

(電力事業)

第1四半期は、冬期渇水期の流量低下により発電量が減少するため、実力ベース経常損益は前年同期
から横ばいの1億円の損失。通期の実力ベース経常利益は、気象条件に恵まれた前期と比べて1億円減
益の3億円を見込む。

<参考指標>

欧州高炭素フェロマンガ
ン市況 (出典: Fastmarkets)

(単位: \$/t)

	1Q	2Q	3Q	4Q	通期
2024年	1,153	1,348	1,341	1,068	1,227
2025年	1,151	1,202	1,159	1,187	1,175
2026年	1,291				

米国高炭素フェロマンガ
ン市況 (出典: METALS WEEK)

(単位: \$/t)

	1Q	2Q	3Q	4Q	通期
2024年	1,217	1,423	1,567	1,369	1,394
2025年	1,189	1,332	1,285	1,133	1,235
2026年	1,229				

マンガ
ン鉱石市況 (出典: Fastmarkets)

(単位: \$/Mn%)

	1Q	2Q	3Q	4Q	通期
2024年	4.3	6.7	7.1	4.1	5.6
2025年	4.6	4.5	4.2	4.5	4.5
2026年	5.2				

為替レート

(単位: 円/\$)

	1Q	2Q	3Q	4Q	通期
2025年	153	145	148	154	150
2026年	157				

業績見込みの前提となる為替レートは、第2四半期以降155円/\$を想定しています。